

福島県版健康データベース（FDB）報告書概要について

令和2年4月6日
健康づくり推進課

I はじめに

本県は、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故による災害から復興の歩みを進めている一方で、避難生活の長期化や生活環境の変化などに伴う健康指標の悪化が大きな課題となっています。

全国に誇れる健康長寿県の実現に向けては、「第二次健康ふくしま21計画」に掲げる、県民の「健康寿命の延伸」と県内地域間や集団間の「健康格差の縮小」をより科学的、効果的な取組により進めていく必要があります。

健康づくり推進課では、福島県国民健康保険連合会、福島県後期高齢者医療広域連合会及び全国健康保険協会福島県支部が保有する県民の約74%の健診・医療・介護の健康データを匿名化して収集し、福島県版健康データベース（以下FDBという）として健康づくり施策に活用する体制を構築しました。

今後は、福島県立医大健康増進センターと連携しながら、健康データを科学的に分析し、地域の健康課題を見える化することで、二次医療圏や市町村における実効性の高い健康づくり事業の推進を支援していきます。

このたび、健康増進センターの今年度分の分析報告書のうち、医療レセプト分析の概要報告がまとまりました。今回の報告では、県民の大多数をカバーし、かつ幅広い世代の方の健康データを基に、二次医療圏別の生活習慣病発生の傾向などを見える化するため、医療費と主たる生活習慣病の病名別医療受診状況を二次医療圏ごとに比較分析しています。

その分析報告の概要については、次のとおりです。

II 医療レセプト分析報告の概要

1 医療費の状況について

報告書では、一人当たり医療費は、福島県を「1」として、地域がそれより多い（少ない）場合には、県全体と比較して地域の一人当たり医療費が多い（少ない）ことを示す地域差指数により、直近の2017年度診療分（国保・後期高齢は2017年11月診療分まで）を二次医療圏別で分析しました。

なお、二次医療圏別の分析は被保険者の住所地別で分析をしているほか、会津と南会津を一つの医療圏とした6つの二次医療圏で比較分析を行っています。

医療費における地域差指数の傾向は、県全体と比較して、県中、相双及びいわき地域が大きく、県北、県南及び会津・南会津地域は小さくなっています。

2 病名別医療受診の状況について

報告書では、二次医療圏別の受診率の比較は、福島県全体を「100」として、地域がそれより高い（低い）場合には、県全体と比較して地域の受診率が高い（低い）ことを示す標準化レセプト出現比により、直近の2017年度診療分（国保は2017年11月診療分まで）を、主たる生活習慣病の病名ごとに、二次医療圏別で分析しました。

なお、二次医療圏別の分析は被保険者は住所地別、件数はレセプト件数を集計し分析をしているほか、会津と南会津を一つの医療圏とした6つの二次医療圏で比較分析を行っています。

本県は総じて、男女とも浜通りで受診率が高く、会津地方では受診率が低い傾向にあります。さらに、各二次医療圏ごとの地域の傾向は次のとおりです。

【県北地域】

県北地域の病名別標準化レセプト比は、「虚血性心疾患」、「狭心症」及び「脳内出血」が全県と比較して高い傾向にあります。（男性＋女性及び入院＋外来）

男女別では、男性は、「脳内出血」が高く、女性は、「虚血性心疾患」及び「狭心症」が高い傾向にあります。

【県中地域】

県中地域の病名別標準化レセプト比は、「2型糖尿病」、「脂質異常」、「高血圧疾患」、「くも膜下出血」及び「脳内出血」が全県と比較して高い傾向にあります。（男性＋女性及び入院＋外来）

男女別では、男性は、「2型糖尿病」、「脂質異常」、「高血圧疾患」、「くも膜下出血」及び「脳内出血」が高く、女性は、「2型糖尿病」、「高血圧疾患」、「くも膜下出血」、「脳内出血」及び「2型糖尿病に対する人工透析」が高い傾向にあります。

【県南地域】

県南地域の病名別標準化レセプト比は、「2型糖尿病」、「高血圧疾患」及び「2型糖尿病に対する人工透析」が全県と比較して高い傾向にあります。（男性＋女性及び入院＋外来）

男女別では、男性は、「2型糖尿病」、「脂質異常」、「高血圧疾患」及び「2型糖尿病に対する人工透析」が高く、女性は、「2型糖尿病」及び「高血圧疾患」が高い傾向にあります。

【会津・南会津地域】

会津・南会津地域の病名別標準化レセプト比は、「脳内出血」が全県と比較して高い傾向にあります。（男性＋女性及び入院＋外来）

男女別でも、男性、女性ともに、「脳内出血」が高い傾向にあります。

【相双地域】

相双地域の病名別標準化レセプト比は、「2型糖尿病」、「脂質異常症」、「高血圧疾患」、「虚血性心疾患」、「狭心症」、「心筋梗塞」及び「脳血管疾患」が全県と比較して高い傾向にあります。(男性+女性及び入院+外来)

男女別では、男性は、「2型糖尿病」、「脂質異常症」、「高血圧疾患」、「虚血性心疾患」、「狭心症」、「心筋梗塞」、「脳血管疾患」及び「2型糖尿病に対する人工透析」が高く、女性は、「2型糖尿病」、「脂質異常症」、「高血圧疾患」、「虚血性心疾患」、「狭心症」、「心筋梗塞」及び「脳血管疾患」が高い傾向にあります。

【いわき地域】

いわき地域の病名別標準化レセプト比は、「2型糖尿病」、「脂質異常症」、「高血圧疾患」、「虚血性心疾患」、「狭心症」、「心筋梗塞」、「脳血管疾患」、「脳梗塞」及び「2型糖尿病に対する人工透析」が全県と比較して高い傾向にあります。(男性+女性及び入院+外来)

男女別でも、男性、女性ともに、「2型糖尿病」、「脂質異常症」、「高血圧疾患」、「虚血性心疾患」、「狭心症」、「心筋梗塞」、「脳血管疾患」、「脳梗塞」及び「2型糖尿病に対する人工透析」が高い傾向にあります。

※ 医療費及び病名別医療受診の状況の詳細は別紙1～3の「福島県版健康データベース(FDB)報告書(医療レセプト分)状況一覧表」を参照願います。

3 その他

このほか、詳しい分析方法や病名別、入院と外来別の県内受診率の詳細等は、健康増進センター概要報告書「福島県版データベースを活用して県民の健康状態を可視化する～その1平成29年度医療レセプト分析の結果について～」を参照願います。

Ⅲ まとめ

本県の2017年度の医療費及び主な生活習慣病の受診率は、全体として浜通りの地域が高い傾向があります。また、くも膜下出血の受診率は県中地域のみが高い傾向にあることや、会津・南会津地域は脳内出血のみ高い傾向を示しているなど、地域における特徴が健康課題として見えてきます。

このほか、現在健康増進センターで分析を進めている健診結果の分析状況等と合わせることで、更に地域の健康状態の見える化を図るとともに、今後は、1年ごとに保険者から健康データを匿名化して収集し、継続して分析を行うことで、健康課題を経年的に分析していくこととしています。

県では健康増進センターと連携しながら、市町村等が抱える地域特有の健康課題に対して、科学的根拠に基づく助言を行うとともに、民間企業のノウハウも活用しながら、健康格差の縮小を図り、健康寿命の延伸につながるような取組を積極的に支援していきます。